

入院関連能力低下発見シートの効果判定 に関する研究

1. 研究の対象

2019 年 12 月～2020 年 2 月 に東京都健康長寿医療センター5 階西病棟に入院した患者様
2024 年 12 月～2025 年 2 月 に東京都健康長寿医療センター5 階西病棟に入院した患者様

2. 研究の期間

研究倫理審査委員会承認後 ～ 2027 年 3 月 31 日

3. 研究目的および意義

入院をきっかけに、体を動かす力が弱くなったり、日常生活の動作（食事・トイレ・移動など）が難しくなる「入院関連能力低下（HAD）」という状態があります。特に高齢の方に多くみられ、退院後の生活にも大きな影響を及ぼすことが知られています。

当院では、こうした状態を早く見つけ、できるだけ早く適切な支援ができるように、「HAD 発見シート」というチェック用のツールを導入しています。

この研究では、「HAD 発見シート」を活用することで、入院中に体の機能が低下してしまう人の割合が減るかどうかを調べます。

また、このシートを使用することで、看護師やリハビリスタッフがどのように患者さんのサポートに取り組んでいるかも一緒に分析します。

この研究を通じて、より早期に HAD を予防できる支援体制を整え、患者さんが安心して入院生活を送り、元の生活にスムーズに戻れるようにすることを目指しています。

4. 研究の方法

対象となるのは、次の期間に当院 5 階西病棟に入院された方です：

2019 年 12 月～2020 年 2 月

2024 年 12 月～2025 年 2 月

上記の方々の診療記録（電子カルテなど）をもとに、入院前後の生活の様子やリハビリの有無などを確認し、「HAD 発見シート」を使った支援があった場合とそうでない場合で、退院時の状態に違いがあるかを比べます。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

診療記録（電子カルテなど）をもとに、以下の情報を収集させていただきます。

- ・ 年齢、性別
- ・ 診療科
- ・ 入院期間
- ・ 入院前 Barthel Index（ADL 指標）
- ・ 退院時 Barthel Index
- ・ 入院前の活動範囲（HAD シートに基づく 5 段階評価）
- ・ 退院時の活動範囲（同上）
- ・ リハビリテーション処方の有無
- ・ HAD 発見シートの使用の有無
- ・ 電子カルテ内における HAD 予防に関する記載の有無

これらはすべて診療記録からのデータ抽出であり、みなさまから新たに採血・検査等の試料を採取することはありません

6. 研究組織

研究責任者	江渕 貴裕	リハビリテーション科
研究分担者	加藤 貴行	リハビリテーション科
	寺澤 泉	リハビリテーション科
	石川 譲治	循環器内科
	堀川 由加里	看護部
	矢田 夏帆	看護部

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なご対応ができない場合がありますことをご了承ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

リハビリテーション科 江渕 貴裕

電話 03-3964-1141 （平日 9：00～17：00）